

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2002-523937(P2002-523937A)

【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)

【出願番号】特願2000-565695(P2000-565695)

【国際特許分類】

H 04 Q 7/22 (2006.01)

H 04 Q 7/28 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/04 K

H 04 B 7/26 108 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月7日(2006.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

階層化されたセルラーネットワークにおける通信リソースの利用を改善する方法であって、

呼が継続している間に、第1のレイヤーセルにおいて、通信リソースに関連するサービスを要求するステップと、

前記呼が継続している間に、前記第1のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能かを判定するステップと、

前記呼が継続している間に、前記第1のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能でない場合には、第2のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能であるかを判定するステップと、

前記第2のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能である場合には、前記第1のレイヤーセルから前記第2のレイヤーセルへと前記呼をハンドオフするステップと、

、
を含むことを特徴とする方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

マルチレイヤーのセルラーネットワークであって、前記セルラーネットワークの中で第1のレイヤーセルを形成する第1の基地局と、前記セルラーネットワークの第2のレイヤーセルを形成する第2の基地局とが含まれているセルラーネットワークにおいて、

呼が継続している間に、第1のレイヤーセルにおいて、通信リソースに関連するサービスを要求する手段と、

前記呼が継続している間に、前記第1のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能かを判定する手段と、

前記呼が継続している間に、前記第1のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能でない場合には、第2のレイヤーセルにおける前記通信リソースの利用が可能であ

るかを判定する手段と、

前記第2のレイヤーセルにおいて前記通信リソースの利用が可能である場合には、前記呼を前記第1のレイヤーセルから前記第2のレイヤーセルへとハンドオフする手段と、
を含むことを特徴とするセルラーネットワーク。